

令和元年度「仙台市障害を理由とする差別をなくし障害のある人もない人も共に暮らしやすいまちをつくる条例」に係る取組みについて

1. 相談体制の整備等

(1) 相談体制

- ①各区障害高齢課及び宮城総合支所保健福祉課(※)に差別相談を含む総合相談に対応する相談員を配置(各1名) ※令和2年度より障害高齢課に名称変更
- ②仙台市障害者虐待防止・差別解消相談ダイヤル(24時間365日受付)で受付

【相談件数】

(単位:件)

	福祉サービス	医療	商品・サービスの提供	教育	雇用	建物・公共交通機関	不動産の取引	情報提供・意思表示	その他	合計
H28年度	7	3	15	2	17	22	9	10	11	96 (96)
H29年度	7	5	14	3	8	17	9	9	4	76 (71)
H30年度	15	5	9	1	12	14	6	16	4	82 (75)
R1年度	23	6	17	2	16	6	4	12	0	86 (84)
H30-R1増減	8	1	8	1	4	△8	△2	△4	△4	4 (9)

注1) 相談者が直接の対応を望まない相談、差別にはあたらないと思われる事案等も含む。

注2) 生活分野の重複含む。合計の()内の数字が実数。

【障害種別】

(単位:件)

	身体障害	知的障害	精神障害	その他・不明等	合計
28年度	52	5	32	10	99 (96)
29年度	38	7	24	9	78 (71)
30年度	28	6	32	19	85 (75)
R1年度	26	7	31	29	93 (84)

H30-R1 増減	△2	1	△1	10	8(9)
-----------	----	---	----	----	------

注 1) 障害種別の重複含む。合計の () 内の数字が実数。

【相手方への対応状況】

(単位:件)

	連絡・調整あり	連絡・調整なし	合計
28 年度	44	52	96
29 年度	24	47	71
30 年度	17	58	75
R1 年度	19	65	84
H30-R1 増減	2	7	9

※相手方への連絡・調整ありの事案 19 件中、事実確認等の結果、障害を理由とする不当な差別的取扱いと考えられる事案は 8 件、合理的配慮の不提供と考えられる事案は 4 件。

(2) 仙台市障害者差別相談調整委員会

障害を理由とする差別に関する紛争の解決を図るため、条例第 20 条に基づき設置。現在までに調整委員会への申立事案はない。

①平成 31 年度の日程・内容

開催日	主な議題等
4 月 25 日	<ul style="list-style-type: none"> ・仙台市障害者差別相談調整委員会について ・平成 30 年度の相談状況について ・平成 30 年度「仙台市障害を理由とする差別をなくし障害のある人もない人も共に暮らしやすいまちをつくる条例」に係る取組みについて ・障害のある人もない人も共に認め合い支え合うためのポイント集～よくある相談事例から見えてくるポイント～について

②委員名簿 (敬称略) ◎委員長, ○副委員長

委員名	所属・職名	分野等
◎大坂 純	東北こども福祉専門学院副学院長	学識経験者
○佐藤 由紀子	仙台弁護士会	司法
赤間 宏	仙台市教育局学校教育課特別支援教育課	教育
大瀧 正子	一般社団法人仙台市医師会理事	医療
小澤 好子	一般社団法人宮城県社会福祉士会	福祉
松前 ゆかり	宮城県社会保険労務士会理事	雇用
松本 隆一	宮城県聴覚障害者情報センター施設長	障害当事者

(3) 仙台市障害者差別解消・虐待防止連絡協議会

障害者の差別解消・虐待防止に関する相談対応等をはじめ、障害者の権利擁護に携わる関係機関のネットワークを構築し、相互に連携して障害者の支援を適切に進めるための体制づくりを図る。

①日程・内容

回	開催日	主な議題等
1	8月8日	・障害者虐待等に係る事例紹介・グループワーク
2	2月5日	・講演「障害者差別・虐待～事例の共有、対応を学ぶ～」 講師：朽名社会福祉士事務所 代表 朽名高子 氏

②構成機関

分野	構成機関
権利擁護	仙台法務局（人権擁護部）、宮城県障害者権利擁護センター、 仙台人権擁護委員協議会
労働関係	宮城労働局（職業対策課、ハローワーク仙台）
当事者	仙台市障害者福祉協会、仙台市知的障害者関係団体連絡協議会、 仙台市精神保健福祉団体連絡協議会、宮城県患者・家族団体連絡協議会
地域福祉	仙台市社会福祉協議会（まもりーぶ仙台）、仙台市民生委員児童委員協議会
教育関係	教育委員会（特別支援教育課）
障害福祉	各区保健福祉センター、各総合支所保健福祉課、障害者総合支援センター、 精神保健福祉総合センター、北部発達相談支援センター、南部発達相談支援 センター、委託相談支援事業所

2. 普及啓発・理解促進等に関する主な取組み

(1) 障害理解サポーター事業

事業者や市民を対象とした障害理解の研修を実施し、障害に関する良き理解者としてのサポーターを養成する。

令和元年度は、平成30年度に引き続き、市民・事業者向けのサポーター養成研修を実施するとともに、講師養成研修を実施した。

①障害理解サポーター養成研修

回	開催日	事業者・団体	参加者
1	4月13日	7COM株式会社	8名
2	4月16日	仙台高等裁判所	18名
3	5月8日	株式会社旅日記	3名
4	5月9日	精神保健福祉家族会 仙台みどり会	23名
5	5月15日	株式会社オンワード・マエノ	14名
6	5月21日	株式会社七十七銀行	31名
7	6月12日	東京スター銀行仙台支店	9名

8	6月15日	古城小学校PTA（と地域の方々）	90名
9	6月18日	株式会社セノン（仙台市地下鉄）	20名
10	6月19日	株式会社セノン（仙台市地下鉄）	23名
11	6月20日	株式会社セノン（仙台市地下鉄）	26名
12	6月21日	人事院東北地区事務局	42名
13	6月21日	クリアホームコンサルティング株式会社	4名
14	7月4日	市民向け講座①	31名
15	7月8日	東北動物看護学院	97名
16	9月25日	仙台市天文台	34名
17	10月4日	人事院東北地区事務局	42名
18	10月8日	株式会社七十七銀行	26名
19	10月23日	仙台ターミナルビル株式会社	24名
20	10月27日	市民向け講座②	22名
21	11月20日	ボランティア養成講座（市ボランティアセンター（VC）、泉区VC、若林区VC共催事業）	10名
22	11月21日	北仙台中学校	92名
23	11月26日	仙台国際ホテル	58名
24	11月27日	仙台国際ホテル	57名
25	12月5日	ボランティア市民活動ネットワーク会議 勉強会（市VC主催事業）	13名
26	12月9日	クラーク記念国際高等学校	23名
27	12月12日	東北外語観光専門学校	9名
28	1月16日	一般財団法人 仙台YWCA	24名
29	1月30日	公益財団法人 仙台ひと・まち交流財団 太白区内市民センター職員研修会	37名
30	2月4日	仙台市沖野老人福祉センター	30名
31	3月4日	仙台市交通局鉄道管理部営業課	14名

参加者 計 954 名

②講師養成研修

開催日	研修内容
12月25日	自己紹介・オリエンテーション 障害者差別解消法、仙台市の条例・計画・制度等について
1月15日	障害理解サポーター養成研修実技
1月22日	講師としての心構え 障害理解サポーター養成研修の内容について
1月29日	各種障害について（身体） 各種障害について（精神）

	各種障害について（発達） 各種障害について（知的）
2月13日	模擬演習
2月19日	模擬演習 修了式（修了証の授与）

※研修参加者16名中、講師登録者は13名（講師登録者累計26名）。講師の障害種別は身体障害（肢体不自由、視覚障害、高次脳機能障害、内部障害・難病、線維筋痛症、脳性麻痺）及び発達障害。

（2）ワークショップ「ココロン・カフェ」の開催

回	開催日	内容等	参加者
1	7月31日	○テーマ：「パラリンピック競技体験を通じた障害理解の促進」 ○会場：（第1回）太白区中央市民センター 大会議室 （第2回）仙台市役所本庁舎 8階ホール	5名
2	8月3日		8名
3	11月24日	○テーマ：「災害時にできることを話し合おう！」 ○会場：（第3回）仙台市役所本庁舎 8階ホール （第4回）太白区中央市民センター 大会議室	35名
4	11月28日		21名

（3）【新規】高校生向けワークショップ「ココロン・スクール」

回	日時	内容等	参加者
1	11月8日	○対象：尚綱学院高等学校（インターアクト部） ○内容：前半45分 障害当事者講師講話 後半45分 障害当事者ファシリテーター1名と生徒5名程度によるグループワーク後、各グループで話し合った内容を生徒より発表	23名
2	12月11日	○対象：1年次生徒（Ⅰ部・Ⅱ部） ○内容：各45分 障害当事者講師講話	計92名
3		※Ⅰ部・Ⅱ部に対しそれぞれ1回開催	

（4）福祉まつり「ウエルフェア2019」

日時・場所	内容	来場者
9月29日 勾当台公園（市民広場・いこいのゾーン） 一番町四丁目 買物公園	○ステージ発表 障害のある方のグループ等による歌やダンスなどの披露 ○ふれあい製品の展示・販売 市内の障害者施設が制作した手芸品や木工品、お菓子・お弁当・新鮮野菜等の展示販売 ○障害のある方の作品展 障害のある方が制作した書道・写真・絵画等の作品を展示 ○ボランティア・障害者スポーツ等の体験コーナー 点訳、朗読、要約筆記等のボランティア活動や障害者スポーツの体験	12,600名

	○啓発ブースの設置 障害理解の啓発、パンフレット・事例集等配布、ココロン筒形飛行機リコーダーの作成	
12月8日 仙台市福祉プラザ2階ふれあいホール	○障害者週間記念式典 「心の輪を広げる体験作文」、「障害者週間ポスター」コンクール、書道・写真・絵画コンクールの入賞者への表彰 ○ステージ発表 知的障害のある方のレクリエーション教室「うきうき音楽くらぶ」によるステージ ○スポーツまちづくりトーク ・基調講演 テーマ：「パラスポーツを楽しむために～する・みる・ささえあう～」 講師：一般社団法人日本パラリンピアンズ協会 会長 河合純一氏 ・パネルディスカッション テーマ：「パラスポーツの楽しさと、市民の関わりなどについて」 コーディネーター：岩瀬裕子氏 パネリスト：ブラインドサッカー女子日本代表 鈴木里佳氏（コルジャ仙台）、パラテコンドー強化指定選手 伊藤力氏（株式会社セールスフォース・ドットコム）	260名

(5) 市民協働事業「TOGETHER ACTION PROJECT part4 (TAP4)」

平成28年度に「市民協働事業提案制度」により実施した「表現活動による障害者差別解消・障害理解の促進に関するPR事業」を引き続き実施。令和元年度は、歩行者空間や商業施設等の集客力のある会場で開催するとともに、従来実施してきたドラムサークルや手話ソングに加えて新たに障害者スポーツ体験等を実施した。

回	開催日	場所	来場者	内容
1	5月3日	サンモール一番町	約100名	<ul style="list-style-type: none"> ・ドラムサークル ・パフォーミングアーツ (障害当事者によるライブ) ・手話ソング&手話で遊ぼう ・ボッチャ体験 ・手作り打楽器をつくろう (日用品等での打楽器作成)
2	6月23日	泉中央駅前広場	約250名	
3	7月28日	錦ヶ丘ヒルサイドモール	約150名	
4	8月24日	元気フィールド仙台	約100名	
5	9月16日	秋保ヴィレッジ	約100名	



ドラムサークル



手話ソング&手話で遊ぼう



ボッチャ体験

(6) 障害者スポーツを通じた理解の促進

障害者スポーツの体験会などを通して、障害のある方もない方も、共に楽しみ、競い合いながら、理解を深めることに努めている。

① ウェルフェアスポーツ

障害者週間にあわせ、様々な障害者スポーツの体験ができるスポーツイベントを開催している。

市民に競技を知ってもらい、楽しさを体験してもらうだけでなく、障害のある方との交流の場となっている。

- ・日時：12月7日
- ・参加人数：289名



② イベントを活用したスポーツ体験会

企業と連携し、多くの市民が集う試合やイベント開催時に障害者スポーツ体験会を実施している。

回	開催日	場所	イベント
1	4月3日、4日	弘進ゴムアスリートパーク	楽天イーグルス公式戦
2	8月24日	宮城野体育館	ブリヂストン×オリンピック×パラリンピック a GO GO! 2019
3	11月10日	ユアテックスタジアム仙台	ベガルタ仙台公式戦

③ 「心のバリアフリー」の推進のためのスポーツ体験交流会

仙台国際ハーフマラソン車いす部に招待選手として出場した樋口政幸選手を迎え、講話や競技用車いすへの乗車体験、パラリンピック競技のボッチャ体験を実施。障害者スポーツや障害に対する理解促進を図った。

- ・日時：5月13日
- ・実施校：立町小学校
- ・参加人数：4年生 42名



(7) 障害者差別解消に関する研修講師等派遣

各種団体等における障害者差別解消に関する研修会に講師として職員を派遣した。

回	日時	団体等	参加者
1	7月17日	児童館等職員研修会・児童館特別支援コーディネーター養成研修	130名
2	7月26日	「仙台七タボランティアスタッフ」事前説明会	20名
3	1月24日	東北運輸局障害者差別解消法セミナー	60名
4	2月21日	民生委員児童委員協議会専門部会研修	75名

※障害企画課において対応したものを掲載。

※上記の他、障害福祉サービスの説明を行う特別支援学校説明会においても条例等について周知。

(8) ヘルプマーク等の周知

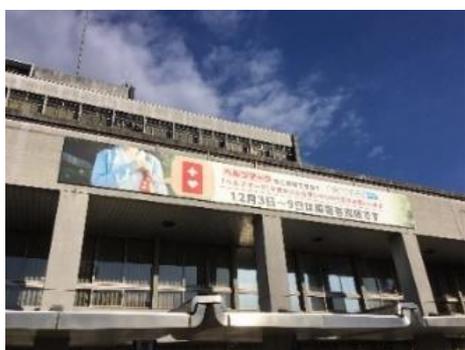
内部障害や難病の方、妊娠初期の方など外見から分からなくても援助や配慮を必要としていることを周囲に知らせるヘルプマークの配布、及び周知啓発を行った。

①ヘルプマークの配布

- ・配布開始日 平成 30 年 12 月 3 日
- ・配布場所 区役所障害高齢課、総合支所保健福祉課、
障害者総合支援センター（ウェルポートせんだい）、
精神保健福祉総合センター（はあとぽーと仙台）、
北部発達相談支援センター（北部アーチル）、
南部発達相談支援センター（南部アーチル）
市立病院総合サポートセンター、各障害者福祉センター
地下鉄南北線仙台駅・勾当台公園駅、地下鉄東西線仙台駅
- ・対象者 義足や人工関節を使用している方、内部障害や難病の方、精神、知的、
発達
障害の方、妊娠初期の方など、援助や配慮を必要としている方
- ・配布個数 3,899 個

②ヘルプマーク等の周知

- ・バス、地下鉄の優先席にヘルプマークステッカーを設置
バスは4月、地下鉄は5月から設置
- ・外見からは分かりにくい障害の周知のためのポスターを設置
11月から地下鉄車両に中吊り
- ・障害者週間にあわせた市役所本庁舎吊看板の設置
掲出期間：11月16日～12月13日



吊看板



ポスター

3 庁内体制の整備等

(1) 障害を理由とする差別の解消に関する庁内研修会

日程	研修内容	参加者
4月3日～5日、 8日	新規採用職員研修「障害を理解するために」 ○対象：H31年度新規採用職員 ○内容： ・障害を理由とする差別と市職員に求められる対応 ・障害当事者による講話 ・グループワーク	226名

5月28日	障害保健福祉新任職員研修 ○対象：障害保健福祉新任職員および市内の障害保健福祉関係機関に勤務する初任者 ○内容： ・障害を理由とする差別の解消について	69名
12月3日	一般職員向け研修会 ○対象：一般職員 ○講師：視覚障害当事者 ○内容： ・職員対応要領について ・視覚に障害がある人への配慮等について	147名
1月31日	管理職員向け研修会 ○対象：各局区課長級以上の職員 ○講師：視覚障害当事者 ○内容： ・職員対応要領について ・障害理解について～障害当事者の視点から～	69名

(2) 市が実施する事業に対する手話通訳等の情報保障の実施

平成28年4月1日に施行した仙台市職員対応要領に基づき、市民向けに実施する事業等における、手話通訳や要約筆記等による情報保障を実施した。

回	開催日	事業名	担当課	通訳者
1	4月3日	仙台市新規採用職員研修	健康福祉局障害企画課	盲ろ2
2	6月26日	仙台ソーシャルイノベーションナイト	経済局産業振興課	手話2
3	7月1日	仙台市市政施行記念式	総務局秘書課	手話2
4	7月24日	仙台市職員採用セミナー	人事委員会事務局任用課	手話2
5	8月10日	企画展「戦国の伊達氏」関連行事 しろまち講座	仙台市博物館	手話2
6	9月2日	第2回広報力アップセミナー	総務局広報課	要約2
7	9月12日	バリアフリー推進協議会	都市整備局交通政策課	手話2
8	9月14日	終末期医療を考える講演会	健康福祉局健康政策課	手話2 要約2
9	10月23日	仙台ソーシャルイノベーションナイト	経済局産業振興課	手話2
10	10月24日	バリアフリーまち歩きワークショップ	都市整備局交通政策課	手話2
11	10月28日	認知症高齢者の家族会	青葉区障害高齢課	手話2
12	11月9日	企画展「やっぱり絵図が好き」関連行事	仙台市博物館	手話2

13	11月10日	仙台防災未来フォーラム	防災環境都市・ 震災復興室	手話2 要約2
14	11月14日	第3回広報力アップセミナー	総務局広報課	手話2
15	11月14日	仙台ソーシャルイノベーション ナイト	経済局産業振興課	手話2
16	11月19日	食品衛生講習会	若林区衛生課	手話4
17	12月6日	仙台フィル「もりのみやこふれあ いコンサート」	健康福祉局障害企画課	手話2 要約2
18	12月6日	障害者雇用促進セミナー	健康福祉局障害企画課	要約2
19	12月21日	民話ゆうわ座	せんだいメディアテーク	手話2 要約2
20	1月26日	たのしい地底の森教室「やさしい 展示解説」	地底の森ミュージアム	手話2
21	1月26日	伊東豊雄講演会「メディアテーク は何を目指していたか」	せんだいメディアテーク	手話2 要約2
22	1月30日	障害のある方の雇用促進フォー ラム	健康福祉局障害企画課	手話2 要約2
23	1月30日	障害者虐待防止・権利擁護研修	健康福祉局障害企画課	要約2
24	2月7日	バリアフリー推進協議会	都市整備局交通政策課	手話2

(3) タブレットによるコミュニケーション支援

障害企画課、各区障害高齢課、宮城総合支所保健福祉課に設置しているタブレットにより、スカイプ（テレビ電話）を通じた遠隔手話通訳や、タブレットにインストールした音声文字化アプリケーション（UDトーク）によるコミュニケーション支援を行った。

遠隔手話通訳	40件
UDトーク	30件